

REFEREE NEWS



公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会

January 2018

年4回発行(1, 4, 7, 10月)

女子審判員初心者研修会の開催について



11月23日(木祝)例年行われています女子審判員初心者研修会(兼更新講習)が行われました。予定では、習志野市4種委員会主催のトレセン交流会をお借りしての研修でしたが、前日夜からあいにくの雨。試合が中止になってしまいましたので千葉市コミュニティーセンターでの座学研修となりました。

今回は、JFAトレセン事業として企画し、JFA派遣のS級インストラクター鮎貝志保氏をお迎えしての研修となりました。鮎貝インストラクターが会場に到着した時、ちょっとした騒ぎに、「お手伝い」と言うことで一緒にいらしたのが、なんとトレーニングウェア姿の西村雄一さんでした。これが実技研修だったなら、もしかしたら交流会に参加した子供達は西村さんに笛を吹いてもらえたかも…と思うと今日の天気を恨みました。

目次 次回4月号はWeb配信の予定です。

•女子審判員初心者研修会の開催について	・・・1～2	•レフェリーフィットネスコラム	・・・16～17
•決勝審判員インタビュー	・・・3～11	•講習会のお知らせ	・・・17～19
•今日も地域で頑張っています！！	・・・12～13	•カテゴリー審判員へのご案内 (審判資格更新に関するお知らせ)	・・・17
•2017年度第2回関東フットサル審判員 研修会レポート	・・・13～15	•休止・降級の方法	・・・19～20
•昇級者のみなさま (昇級おめでとうございます)	・・・15～16	•永年表彰のお知らせ	・・・20

座学講習は、研修生にとって大変充実した研修でした(感想参照)。はじめに、研修生が疑問に思っていることや聞きたいこと、困っていることなどについて集約しましたが、研修に生かしていただけたとのこと。

午前中は鮎貝インストラクターの講義でした。普段見ることでできない映像や審判員として心がけること、皆が苦勞するオフサイドの判定について等々、盛りだくさんの内容でした。

午後は、研修のはじめに皆で出し合った疑問や知りたいことについて、鮎貝インストラクターだけでなく、西村さんの回答を交えての研修でした。午後も充実した内容で、スタッフも皆メモをとりながら研修生と一緒に勉強させていただきました。

ピッチでは立ち止まって考えることができませんが、この研修では立ち止まったり振り返ったりしてゆっくり考える時間がありました。今回の研修で学んだことを是非とも実践で生かしていただきたいと思います。11名の研修生とスタッフで大変贅沢な研修になりました。RNをご覧の4級・3級の女子審判委員の皆さん、来年の研修会への参加、お待ちしております。

以下、参加者のみなさんより感想をいただきました。(順不同。敬称略)

- あいにくの天候で実技研修から座学への変更となったのですが、講師の鮎貝さんや西村さんの講習内容が分かりやすく、とても楽しく講習させていただきました。レフェリーとしての見極めの仕方や中心視・周辺視への意識の持ち方、オフサイドの難しい例など・・・知りたかったことを沢山学ぶことができました。今後の審判活動に役立てていきたいと思います。(諏訪由紀子)
- 分かりやすくまた楽しく学べました。特に、ラインを視野に入れるとオフサイドラインが見やすいということ、オフサイドラインを見るときにはかかかがキーポイントである事、ファウルは引き算で見なければ過剰なジャッジにならずにみられるなど様々な事を教えていただきました。経験をかさねていきたいと思います。(平野あかね)
- どの研修よりもわかりやすく自分の中にずっと入ってきて、ジュニアユースでの審判をする際の迷いが取れたかなと思います。ポジションの取り方、ファウルの定義、オフサイド・・・まだまだたくさん覚えないと行けないと改めて思いました。これからも頑張ります。(鳥居さつき)
- 普段ではなかなか聞いたり確認したりできない事がたくさん聞けて、本当に勉強になりました。これからも子供たちの試合のサポートとしての審判のお手伝いを頑張りたいと思います。(石橋直子)
- 今日は実技ができなくて残念でした。でも、講習を受けて「また審判頑張ろう。」と思いました。ビデオを見ながらの講習は分かりやすくて良かったです。とても良かったです。ありがとうございました。(井上八重子)
- 審判の資格を取ったばかりで、オフサイドやファウルに自信が持てないまま試合に出ていました。しかし、審判としてのポジショニングやタイミングなどたくさんのお話を教えていただいたので、今回学んだことをチームに戻り早速実践していきたいと思っています。前より少し自信を持って審判ができそうです。とても勉強になりました。ありがとうございました。(山本礼加)
- 今回参加させていただき学んだことを審判活動に活かしたいです。特にファウルの見極めの仕方は分かりやすかったです。(高村久美子)
- 雨の為講義研修になりましたが、楽しく興味を引くお話がたくさん聞けました。ファウルの判定基準の話はとても参考になりました。素晴らしい講師の方に出会えたことも大変うれしく思います。ありがとうございました。(繁田育恵)
- 非常に楽しく学べて充実した1日になりました。オフサイドの見極めやファウルの判定など、具体的な話が聞けて良かったです。今後に生かしていきたいです。(平山美幸)
- サッカーを楽しくプレーするだけでなく、レフェリー自身もルールを覚え、プロ意識を自覚しないといけないと思いました。苦手な事でも、チャレンジして数をこなしていくと、覚えていくのだと思っていましたが、今日のような座学で、普段思っていたことを一つひとつ丁寧に教えていただき、疑問を解消することも大切だと思いました。また、普段男性の中で働いているので、女子部の方々の思いやりや気遣いがたくさん感じられました。「楽しくするためのルール」という言葉を心に刻み、今後も頑張っていきます。ありがとうございました。(佐々木梨歩)

第 67 回千葉県民体育大会サッカー競技(男子の部)決勝戦

2017 年 9 月 23 日(土祝) 13:30 キックオフ ～市原スポレクパーク(Dコート)～

市原市 1(0-2, 1-1)3 船橋市

R:松田 卓磨氏、A1:木原 裕之氏、A2:久保田 海斗氏、4th: 淵上 祥太氏 (文中敬称略)



(左から 久保田氏、淵上氏、松田氏、木原氏)

Q.まずは試合を終えての感想をお願いします！

松田：選手全員がプレーに集中し、最後の最後までしっかりやってくれて良かったと思っています。

木原：淵上さんと楽しくレフェリーが出来て良かったと思っています！(笑)。昨年と連続で当大会では決勝戦を務めさせていただき、2回目の表彰となり感謝しております。ありがとうございます！

久保田：決勝戦という事で、(プレーに)大きな影響を与えるようなことが無かったので、良かったです。

淵上：立ち上がり数分は選手のコンタクトレンズ交換とボール投入のタイミングが重なりバタバタしてしまいましたが、無事に試合を終えて良かったと思います。



Q.普段より、試合の為に心がけている事を教えてください！

松田：フィットネストレーニングです。週末を試合と考えて、平日は平均して週4日行い、強度を考慮して30～90分の長さで行っております。

木原：最近、トレーニングが行えておりませんが、ストレッチをメインにして自宅で毎日行います。

久保田：目にした事のないシーンに対し、特に重点を置いてイメージトレーニングを行っております。

淵上：RAちばの活動をメインに、都度日時調整を行い参加しています。

Q. 皆さんにとって、サッカーまたはレフェリーとは、どういったものでしょうか？

松田：生活の一部であり、自分自身にとってサッカーが無くなるのが想像出来ないくらい、大切なものです。

木原：昔は、生活の一部としてサッカーを楽しんでおりました。今は、子供と居て共有出来ている事から、サッカーは「生涯スポーツ」である、と実感しています。

久保田：唯一、僕を必要とされる大切なものです！

淵上：「楽しみ」です！楽しめるようにしていく事が大切だと思います。

Q. 皆さんの座右の銘または、好きな言葉を教えてください！

松田：「継続は力なり」

木原：「小さな事からコツコツと」

久保田：「厚恩感謝」

淵上：「満足しない」

Q. 最後に、千葉県で活躍されるレフェリーの皆さんへ一言、お願いします！

松田：先の話とリンクしますが「継続は力なり」です。淵上さんから「満足しない」という言葉もありました通り、満足したらそこで成長は止まってしまう。たまには立ち止まってみることも必要かと思いますが、長期的な視点で、歩みを止めないことが大切だと思います。

木原：日々努力をして、選手達の為に頑張っていると信じております。千葉県のサッカーを、皆さんと共に盛り上げていきましょう！

久保田：多くの現場に出向いていき、ケガなく頑張っていきましょう！

淵上：皆さんと割当にて一緒にレフェリーを行う事を楽しみにしております！

第67回千葉県民体育大会サッカー競技(女子の部)決勝戦

2017年9月23日(土祝) 15:30 キックオフ ~市原スポレクパーク(Dコート)~

船橋市 2(1-0、1-0)0 千葉市

R:竹内 真理氏、A1:原 道代氏、A2:根本 将志氏、4th:高村 久美子氏 (文中敬称略)



(左から 根本氏、高村氏、竹内氏、原氏)

午前中の雨もあがり、日差しも出て心地良い風が吹く午後からの決勝戦を無事に終えた審判団に、市原スポレクパークでインタビューを行いました。

Q. まずは試合を終えての感想を教えてください。

竹内：無事に終わって良かったです。緊張して特に前半巻き込まれるシーンもあったのですが、怪我人もなく終えることが出来ました。

原 : 同じく無事に終える事が出来て良かったです。決勝戦は初めてでしたが、経験できて良かったです。

根本 : ホットしています。ただただ、ホットしています。無事に終わって良かったです。

高村 : まだ緊張しています。家に帰るまで緊張していると思います。



Q 審判を長く続けるようになったきっかけ、途中で辞めたいと思わなかった理由は？

竹内 : 審判をしていて、巻き込まれたり上手いかなかったりすることが多いのですが、それを克服しようと努力しているうちに今まで続けられました。それから終わって美味しくお酒が飲める事も(笑)。

原 : 失敗をして、反省して次につなげるプロセスが好きです。それでなぜかここまで来てしまいました(笑)。出来た時の喜びとまた反省しての繰り返しですかね！

根本 : 私は4種のコーチもしているのですが、送り出した子供たちが成長して違ったかたちで試合に関係できるのが嬉しくて続けられています。

Q 普段審判をするうえで心掛けていること、座右の銘は？

竹内 : 先日、大石元委員長のお話で「Mistake is a Gift」という言葉を聞いて、ミスをする事は挑戦への第一歩で、失敗してもそれは神様からの贈り物でミスしてもくじけずに、それをクリアできるように次に生かす、というような意味で、いいな！と思いました。この言葉でミスしても前向きにやっていけるかな？と思っています。

原 : 「チャレンジし続けること！」審判していてゴールはなく、どこまでもチャレンジし続けなければいけないんだな！と思っています。

根本 : 特にないのですが、普段から意識していることは「選手に走り負けなさい！」ということですかね。出来るだけ近いところで見るといことを心掛けています。

高村 : 「努力は突然報われる！」です。(全員:「ほ～～！カッコイイ！」)努力をし続けていけば、ある日突然報われることがあると聞いて頑張っています。

Q 家庭や仕事との両立をどうやって工夫して審判していますか？

竹内 : 家族の協力が一番です。子供も自立しているので、夫の理解と協力で出来ている事に感謝しています。仕事は巻き巻きで！いかに効率的に仕事をするか？仕事の効率化に役立っています(笑)。

原 : 仕事をしていて土日に審判をすると全く違う世界なので、逆にバランスが取れていると思います。仕事とは全く違う方々と知り合いになれて、見た事のない世界がそこにあるのでありがたいな！と思っています。

根本 : 職場と家族の理解、そしてスケジュール管理が大切です。審判以外にも家庭の事もあるので、計画的に時間を作ることが大切です。

高村 : とても参考になります。皆さんのように今後も審判を続けていけるように見習わせていただきます。

Q 審判をしていて嬉しかったことは？

竹内 : 割り当てを頂いて試合に来る時は楽しいです。緊張もしますが、チームで審判できるので。

原 : 人との出会いです。日々の生活とは違う人達と試合を共有できて、色々な人達と話しが出来て仲間になれるのが嬉しいです。

竹内 : 会社とも違うし、大学や高校時代の友達とも違う、色々な人達と知り合ってお話しができるだけでも嬉しいです。国際審判の方などテレビの中の人ともお話しができて嬉しかったです。

Q 女性は夏の日差しが大敵ですが、日焼け対策は？

原：高い日焼け止め！です(笑)。日焼け止め効果の高いSPF+++とかに加えて、値段も高いもので(笑)。あとは他の人から良い情報ももらって、それを買って出来る限りの努力はしています。途中で諦めそうになった時に「諦めたら今までかけたお金が台無しヨ！」と言われたので、「そうですね～！」って最後の最後まで諦めないようにしています。

竹内：ビタミン剤なども飲みながら、中から外から！抵抗ではなく努力です！(笑)

高村：美容関係の方から「72時間以内にケアすれば大丈夫！」と言われたので、家に帰ったあと、顔のほてりが冷めるまで、ひたすら冷やしています(笑)。

Q 最後に今後審判を続ける上で目標は？

高村：数年以内には3級を取りたいと思っています。

(一同:「オ～～！」)

竹内：体力を落とさず、維持するためにいい準備をして、主審でも副審でもどの割り当てでも頑張っていきます。

原：いい準備をして、怪我の無いように長く続けられるように頑張ります。

根本：2級を目指します！(一同:「オ～～！」)



平成29年度第23回全日本フットサル選手権大会千葉県大会決勝戦

2017年11月26日(日) 10:30 キックオフ ～東実健保センター体育館～

バルドラル浦安セグンド 5(0-3、5-1)4 FCmm

R:中村 翔氏 2ndR: 木村 拓氏 3rdR:藤崎 翔平氏 TK:奥間 崇広氏 (文中敬称略)



(左から 奥間氏、木村氏、中村氏、藤崎氏)

今年度の決勝戦は、千葉県を代表するFリーグチーム、バルドラル浦安のセグンド(2軍)と、昨年に引き続き決勝戦に駒を進めて、今年こそ、と雪辱を期すFCmmの対戦となりました。

この試合の主審を務められたのは、千葉県のフットサル審判界のニューフェイス、弱冠24歳の中村さんです。今回は中村さんに、試合後お疲れのところ快くインタビューに応じていただきました。



Q 中村さんはどちらの出身なのですか？

中村： 北海道稚内市、日本の最北端です。昨年仕事で千葉へ来て、環境が落ち着いた今年度から本格的に審判活動を再開しました(サッカー審判は現在も北海道所属とのこと)。

Q 審判を始められたきっかけは？

中村： 高校のサッカー部に入部する時に審判資格取得が必須で、北海道という土地柄、冬場はフットサル、ということでフットサル審判の資格と合わせて取得しました。3年で引退してから、稚内地区のファミリーフットサル、サッカーなどイベントでお手伝いしているうちに、稚内地区の審判委員長に上級審判を目指してみないか、と声をかけていただいて、自分でもサッカー、フットサルに身近に関わり続けていきたい、と本格的に取り組むようになっていきました。

Q 2級審判になられたのは？

中村： 大学1年生の時です。北海道では、既にそうした育成カリキュラムの環境が整っているのです。大学でもサッカー部には所属していたのですが、審判活動を優先することに監督が理解を示していただいて審判活動を続け、現在も職場の理解があってこうして活動が出来て、感謝しています。

Q 北海道と千葉、何か違いがあって戸惑ったりすることはありますか？

中村： いえ、特にそんな違いはないかな、と。(千葉県のフットサル審判界は中村さんより年配の方が多いが年配の方が多いほうが、何でも聞けるし、勉強になる情報も多く伺えるので、有難いです。

Q フットサルとサッカー、どちらが面白いですか？

中村： 両方とも、それぞれの面白さがありますよね！ただ、今はフットサルの方が面白いですね。

Q 将来の目標を聞かせてください。

中村： はい、やるからには国際舞台を目指したいですし、国内でも既に同い年でFリーグ審判員がいるので、自分も可能性を信じて早く追いつけるようチャレンジしていきたいと思います！

今後のご活躍を期待しますとともに、中村さんの目標に刺激されて本格的にフットサルの審判に取り組んでみようと思った方は、金子フットサル&ビーチサッカー部長まで(kanekochiba@yahoo.co.jp)ご連絡をお待ちしております。

【ご連絡】

2018年度第1回2級昇級推薦審査・3級昇級審査は4月1日(日)に野田市陸上競技場で開催予定です。
詳細は後日審判委員会サイトにてお知らせします。



平成 29 年度第 96 回全国高校サッカー選手権大会千葉県大会決勝戦

2017 年 11 月 23 日(木) 13:05 キックオフ ～フクダ電子アリーナ～

流通経済大学付属柏高等学校 2(1-0、1-1)1 船橋市立船橋高等学校

R:桜井大介氏、A1:森田秀一氏、A2:鈴木悠介氏、4th:小栗山浩史氏 (文中敬称略)



(左より 鈴木氏、小栗山氏、桜井氏、森田氏)

Q. 試合を終えての感想を一言、お願いいたします。

桜井: 自分自身が今できることを出し切ることができました。

森田: 注目度の高い中、1 試合通して集中力を保ち、無事に終えて良かったです。

鈴木: とても緊張しました。素晴らしい先輩方と協力して試合に臨み、反省はありますが、まずは無事に終えてホッとしています。

小栗山: 何事もなく試合を終えることができて良かったです。

Q. 試合全体を通して、特にこれが良かった!と思う事を教えてください。

桜井: 選手やチームスタッフが試合・プレーに集中してくれたことです。

森田: 明確な打ち合わせのもと、副審として果たすべき役割をゲーム展開の中で感じ取りながら出来たことです。

鈴木: 決勝戦ということもあり、選手のテンションが非常に高かったのですが、集中して試合に臨んでくれたこと。また、審判団の判定を受け入れてくれたことです。

小栗山: 試合終盤で得点・交代・警告の記録・アディショナルタイムの表示と、とても忙しかったのですが、慌てず落ち着いて対処できたことです。



Q. 今まででレフェリーをしてきた中で辛かった事や難しく大変に思った事など、あればお聞かせ下さい。

桜井： 仕事との両立が難しかった時期があり、自分が活動したくても思ったように活動できなかったことです。ですが、周りの先輩方など、本当に多くの方に助けていただきました。現在は職場や家族に非常に理解していただき、素晴らしいサポートの元、不自由なく活動させていただいております。

森田： 今シーズン開幕から実力不足を連続して痛感する試合を経験し、メンタル面もスキル面も全て変えていかなくては到底生き残れないという状況に直面したことです。ただこの経験があったからこそ、そこからさらに千葉県の方々から指導もいただきながら、自分とレフェリーというものに向き合えたことは重要なものとなりました。

鈴木： 学生の時とは異なり、仕事との両立や体型の維持が難しかったです。現在は生活にも慣れ、素晴らしいサポートの元、楽しい審判活動を行わせていただいております。

小栗山： 難しく大変だったのは初めて高校選手権の決勝戦で第4の審判員を行った時です。第4の審判員の役割は理解していたのですが、実際には慌てて対応することとなってしまい、主審や副審とうまくコミュニケーションをとれず、試合が終わってから反省ばかりでした。第4の審判員もゲームの流れ・ベンチの動きを予測しながら準備し対応していくことを学んだ試合でした。

Q. レフェリーをしていて、「これがあるからまたやりたくなる!」と、思うところを教えてください。

桜井： 試合に関わったチームや選手の方・先輩方から、「とても良かった。またお願いします」と言っていたときです。

森田： 最近はレフェリーとして経験していく中で、ゲーム中の視点が変わっていくことが非常に面白いです。

鈴木： 多くの選手や指導者・運営・審判員の方々とは出会うことができ、年を重ね、やがて成長した選手と再び同じピッチに立てることが楽しみです。

小栗山： 試合が終わったときに勝敗に関係なく選手から「ありがとうございました。」と言ってもらえた時です。

Q. 最後に、千葉県のレフェリー皆さんへ向けた一言をお願いいたします。

桜井： 努力は裏切りません。すぐに結果が出なくても、見てくれている方は必ず居ます。腐らず、諦めず、自分の信念を信じて努力し続けましょう！私もまだまだ努力し続けます！

森田： このような貴重な試合を経験させていただきありがとうございます。これを活かし、またグラウンドでお会い出来たときに、少しでも成長している姿を見せられるよう取り組んでいきます。

鈴木： レフェリーは、選手のために全力で走れ！（私の恩師の言葉です）。レフェリング技術や他人との関わりなど、なかなか上手いかない時期もあります。まずは謙虚で、ひたむきにやるのが大切であると、常々実感しております。

小栗山： 今後もレフェリーとしてのスキルを上げていきたいと思っております。今後ともご指導をよろしく申し上げます。



(左より、鈴木氏、桜井氏、大石副委員長、森田氏、小栗山氏)

青年よ、大志を抱け！

第40回 JAバンクカップ・チバテレビ旗争奪千葉県少年サッカー選手権大会決勝戦

2017年12月10日(日) 13:30 キックオフ ～青葉の森公園陸上競技場～

柏レイソルU-12 0-0 7PK8 柏レイソルA.A TOR'82

R:上田 優心氏 AR1: 野中 柁輝氏 AR2:石橋 歩氏 4th:鈴木 墨氏 (文中敬称略)



(左から 石橋氏、鈴木氏、上田氏、野中氏)

今年度の決勝戦では、千葉県4種委員会審判部で育成指導しているユース審判員の皆さんが担当されました。同日に行われた準決勝を担当された進藤拓海さんを含めた5氏に、試合後お疲れのところ快くインタビューに応じていただきました。

Q 審判を始めたきっかけは？

上田:中学校の部活動で、あまり試合に出来る機会に恵まれなかった時に、審判活動でチームをサポートすることが出来ることを知り、始めました。

Q 始めてみて、何か発見や変化はありましたか？

上田:プレーヤーと違う立場でサッカーに関わる、というのが最初のうちは新鮮で、さらにルールについて仲間に訊かれて頼られることなどを通じて、チームに貢献できている喜びを実感しました。さらにはレフェリーハイスクールでお世話になっている中村さんをはじめ、部活動だけでは決して関わられなかった方々と交流出来るのが楽しいです。

Q 今後の目標について

上田:大学に入学して、勉強も大変だと思うのですが、2級審判員を目指して、礼儀や人間性も含めてレフェリーハイスクールで切磋琢磨する後輩へ道筋のようなものを示したいと思います。





Q 審判を始めたきっかけは？

鈴木：中学生の時にサッカー部の顧問を通じて、レフェリーハイスクールの誘いがあり、最初は審判に対してあまり興味がなかったんですけど、自分のレフェリングが褒められたり、良い判定が出来た、と実感出来た時の充実感から、だんだん惹かれていきました。

Q 今後の目標について

鈴木：今後の近い目標は、2級になること、将来はJリーグの審判がしたいです。



Q 審判を始めたきっかけ、今後の目標は？

野中：小学校6年の時に、審判資格が取れることを知って、プレーをする上でも競技規則の理解を深めることがプラスになると考えて、友達を誘って一緒に取得しました。小学校時代のクラブの監督がちよくちよく講習会などの機会を紹介して下さり、周囲の理解もあってプレーと審判活動が両立させることができている。もっと実力と自信をつけて、より大きな舞台で審判が出来るよう続けていけたら、と思います。



Q 審判を始めたきっかけは？

石橋：小学生の時に、北京オリンピックのサッカーの試合を見て、揉めている選手をうまくコントロールしている審判を見て、かっこいいな～、と思い、自分もやってみたい、と思ったのと、小学校の時のクラブのコーチに審判の手ほどきを受けたのがキッカケです。資格を取って、本格的に始めたのは中学生になってからです。

Q 始めてみて感じていることはありますか？

石橋：実際に審判をしてみると、なかなか笛が吹けなかったり、目標としている人に全然及ばないのですが、少しずつ上達している手ごたえは感じています。

Q 今後の目標について

石橋：2つ目標があって、1つは天皇杯の決勝戦で笛を吹くことと、もう1つはW杯で笛を吹くことです。



Q 審判を始めたきっかけは？

進藤：中学校でサッカー部の顧問に勧められて審判資格を取得し、顧問が4種委員会の並木さんたちと交流があって、指導していただく機会に恵まれ、プレーヤーと両立しつつ審判活動を続けています。

Q 審判を始めたきっかけは？

進藤：プレーをしていて、もっとこういうレフェリングをしていただけたら有難いなあ、と思えるレフェリングを実践して、その難しさと楽しさを感じつつ、上手く実践出来たらより多くの方がサッカーに関わる喜びを得られるのでは、という思いで審判活動を続けています。

Q 今後の目標について

進藤：W杯で審判をすることです。





今日も地域で頑張っています！！

～いつも各地の大会会場で頑張って審判している方々を紹介します～

今回は市川市にお伺いしました。



市川市サッカー協会 審判委員会は今年で設立20周年になります。

登録メンバーは、4級:3名、3級:36名、2級:12名。そのうち、9名が女子審判委員です。

11月25日(土)市川市立第八中で行われた「宮田招待Jrユースサッカー大会」を利用した4級と3級の実技更新研修に参加された皆さんをご紹介します。

この日はインストラクターとして県協会から山崎久氏、田中雅之氏が派遣されました。



- ①:氏名(敬称略) ②:審判歴 ③:審判になったきっかけは?
④:審判活動で印象に残っていること ⑤:これだから審判は辞められない審判の魅力とは?



- ①:杉田直樹
②:16年
③:子がサッカーを始めていたのですが、妙典小学校開校時で審判員が不足しているので、とりあえず取ってと言われて。
④:社会人リーグの審判で、地元市川の中学校卒業生が、試合前に挨拶に来てくれたことがとても印象に残っています。
⑤:試合後の挨拶で「ナイスレフェリー」とお互いのチームに言われた時



- ①:遠藤万紀
②:10年
③:息子の所属チームの手伝いで審判取得したのがきっかけです。その後、市川の審判委員会で勉強をさせていただきハマってしまっただけです。(笑)
④:大学生の同好会の大会の決勝でアシスタントレフェリーを務めた際、試合を決定づける得点のシーンでノットオフサイドの判定をしたことです。微妙なシーンだったので選手から声も上がったのですが、インストラクターを務めてくださった方々にナイスジャッジと褒められたことが、すごく嬉しくその後の審判活動への自信に繋がりました。
⑤:選手たちの、「ああ楽しかった」、「悔しかった」、「嬉しかった」、という色々な思いを少しでも感じる事ができた時、すごく幸せを感じます。



- ① :石川安久
- ② :25年
- ③ :子供がサッカーを始め、お手伝いを始めてから。
- ④ :審判を始めた時期、サッカー経験があったのにジャッジが全くできず、そこから勉強するようになった。
- ⑤ :自分のジャッジで選手が楽しくプレーできる場を作れることが嬉しいです。



- ① :近藤崇
- ② :25年
- ③ :子供がサッカーをやっていたため(自身はプレーヤー継続中)
- ④ :コーナーキックのボールが自分の背中に当たったこと。
- ⑤ :勝っても負けても涙を観れる子供たちのサッカーからは離れられません！



- ① :野坂慶一
- ② :27年
- ③ :子供の帯同審判から
- ④ :決定的な得点機会の阻止の場面(ゴールエリア内のハンド)で対応できなかったこと
- ⑤ :サッカーと審判が好き

2017年度第2回関東フットサル審判員研修会レポート

2017年11月3日(金)～5日(日)に神奈川県で開催された第2回関東フットサル審判研修会に参加された室田智広氏及び木村拓氏よりレポートを寄稿いただきました。

● 室田智広氏レポート

平成29年11月3日(金)～5日(日)の間に神奈川県立体育センタースポーツアリーナで行われた、第23回全日本ユース(U-15)フットサル大会関東大会及び第8回全日本女子ユース(U-15)フットサル大会関東大会の審判員を対象とした、2017年度第2回関東フットサル審判研修会に参加した事をレポートします。

参加チーム男子は各都県出場枠8チームに加え開催地枠(神奈川県)、前回優勝枠(千葉県)、及び前年度大会登録枠(東京都32、千葉県24)の計12チーム、女子は各都県出場枠8チームにて行いました。各チームとも県予選を勝ち上がった強豪ばかりで、全国大会につながる関東の1枠を争う白熱した試合が展開しました。

参加審判員は各都県から2名参加し、2級昇格後2年以内及び、2級昇格を目指す3級審判員が参加しました。各参加者とも、都県を代表して参加しているので大変意識も高く、質の高い講習会となりました。

3日(金)の初日、午前中は全体ガイダンス終了後に地元神奈川県サッカー協会フットサル部の皆さんと大会用のコート作りを実施後、レフェリー実技講習を関東フットサルビーチサッカー協会強化育成部長松井隆氏のもと行いました。実技講習はほとんどが初対面の審判員なので、声を使わずに生年月日を伝え合う等のアイスブレイクから始まり、動きを伴ったウォーミングアップを実施後、フリーキック時の壁の距離コントロールを重点的に行いました。審判員がピッチ内に侵入せずに壁の距離をコントロールする方法や、笛の音の強弱で審判員の意思を選手に伝える方法などは大変勉強になりました。

午後からはセッション1として競技規則テストを実施後、セッション2として映像を見ながら、正しいプレーか反則のプレーかを見極める、考え方について松井氏から講義を受けました。講義の中でも特に印象に残っている言葉が「ファウルかどうかをみるのではなく、そのプレーが正しいかどうかを見極める」というものでした。具体的にはボール保持者に対して守備側競技者のチャレンジの仕方について、

『プレーのタイミング』『プレーの方法』『プレーの方向』『プレーの強さ』『チャレンジするための距離』

の5つの項目を当てはめて、プレーが正しいかを判断してゆくという内容で、上記の5つの項目の中からひとつでも、正しくないチャレンジがあれば反則になるという内容でした。

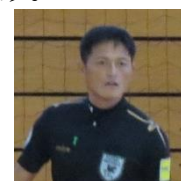
これまで私は、反則を見極める際に、これまでのサッカー経験や雰囲気で見極めていたが、今後は上記の見極めも考慮に入れて反則を見極めていけたらと思います。

講習会2日目と3日目は、第23回全日本ユース(U-15)フットサル大会関東大会及び第8回全日本女子ユース(U-15)フットサル大会関東大会の審判を実施して、その都度複数のインストラクターの方から指導を受けました。最終日、私は男子決勝の主審を任されました。決勝戦というとても緊張感のある試合の主審として、抜擢していただき大変光栄であるとともに、身の引き締まる思いで主審を行いました。対戦カードは、ルキナス印西ブルーvsクラッキス松戸アマレイロの千葉勢対決で、千葉県予選の決勝も私が担当した因縁の対戦となりました。結果は県予選の屈辱を果しクラッキス松戸アマレイロの勝利となりました。

審判を実施した、2日間を通して、競技者の手による反則の見極めや、ゲームのスムーズな進行など私の審判員としての課題は山積みなので、今後は県内及び関東の審判活動でひとつずつ克服していきたいと思っています。

最後に、今講習会の3日間で関東フットサルレフェリーと接する事により仲間意識が強くなったことや、私のレフェリングに対してインストラクターの皆さんからの指導は勉強になり、大変有意義な3日目を過ごすことができました。

今後、今講習会で学んだことを県内の審判員に還元できるように審判活動に励んでいきたいと思っています。



フットサル2級審判員 室田 智広

● 木村拓氏レポート

この度は第23回全日本ユース(U-15)フットサル大会及び第8回全日本女子ユース(U-15)フットサル大会の関東大会に審判員として参加させて頂きました。期日は2017年11月3, 4, 5日、2泊3日で神奈川県立体育センタースポーツアリーナにて行われました。

それぞれの日程は、3日の初日、神奈川県立体育センタースポーツアリーナに集合しての顔合わせから、4日から開始される大会のためのピッチ作成及び審判員同士での交流や基本的事項の確認などを行いました。その後は競技規則テスト、解説があり、さらに座学を行って初日の講義は終了、ホテルに移動し参加者にて夕食を共にしました。

2日目の4日は朝に軽いウォームアップと当日の割り当て確認があり、スポーツアリーナに移動してよいよ大会が始まり、各人が主審、第2審判、第3審判、タイムキーパーと合計4試合の予選リーグの割り当てを頂き、誠心誠意務めました。各試合後には反省会が行われ、インストラクターの方からの技術指導がございました。そして日程を終了させたのち宿舎に移動し2日目終了となりました。

最終日の5日は研修参加者皆でスポーツアリーナに移動し、ついに試合は佳境を迎え、決勝トーナメントとなりました。個人的には男子準決勝の第2審判の割り当てを頂き、この試合もまた誠心誠意務めさせて頂きました。全試合の日程が無事終了し、最後に総括を終えて帰宅となりました。

初日の詳細としまして、まずピッチ作成ですが、千葉県のフットサルレフェリーは日頃より鍛えられておりますので問題なく行えました。ですがペナルティーエリアを引くためのペナルティラインの始点がどこかなど、細かいところでのポイントなども知ることができ、さらに理解を深めることができました。審判同士の交流では、まず2チームに分かれ、まだ名前も顔も知らない相手に言葉やジェスチャーを用いずに名前のあいさとお順に並ぶことや、誕生日順に並ぶことを競いました。自チームは足踏みの音の回数などでなんとか成功させましたが、アイコンタクトを使って右目は苗字、左目は名前、というような工夫もあるようで面白かったです。基本的事項の確認及び技術指導では、主に4秒のカウントの正確な感覚や数え始めのタイミングなどを確認しました。また、ファウルが起きてからの相手競技者(壁と呼ばれますね)の5メートルの下げ方などが指導されました。壁の下げ方は個人的にもまだまだ改善の余地ありだと感じました。素早く正確にストレスなく行えることは、選手にとっても観客にとっても気持ちの良いものだと思います。

その後は研修室にて競技規則テスト、そのテストの解説、競技規則に関する座学が行われました。個人的にはさらなる勉強が必要であると常日頃感じております。さらには映像を用いての状況把握及び判定の見極めを行いました。その行為がそもそもファウルなのか、警告なのか、退場なのか、感覚で判断していたものでも言葉に直し競技規則に当てはめて考えてみるとおのずと答えが出てくるものもあり、映像から事象を言葉に直し、競技規則になぞらえて判断することの重要性を再確認しました。

その後宿舎に移動し皆で夕食を共にしました。15人ほどおりましたが、様々な職種、年齢、色々な方がいる中で皆さん審判が好きな事が伝わり、面白く感じました。

2日目及び3日目はまずは試合を行い、実際の試合による映像やインストラクターの方々からのお言葉による反省会が主となりました。個人的に普段からあまり緊張はしない方なので普段通りできたことが多いとは思いますが、まだまだ技術的には足りないことばかりですのでこれからの審判活動の中で修正、向上していければと思っています。

余談ですが男子決勝戦は千葉県のクラッキス松戸アマレイロとルキナス印西ブルーの対決で、主審は千葉2級の室田さんでした。千葉県の仲間としてとても誇らしく思います。

今回の関東研修会参加にあたり、千葉県サッカー協会の方々、関東サッカー協会の方々、神奈川サッカー協会の方々、大会関係者の皆様に多大なるご配慮を頂きまして恐縮の至りですが、参加させて頂いたことに心より感謝申し上げます。この経験を活かしさらなる向上を目指し、鋭意努力して参る所存でございます。

フットサル2級審判員 木村 拓

昇級おめでとうございます

次の皆様が“憧れのワッペン”を手になされました。おめでとうございます。一層のご活躍を期待しております。

サッカー女子1級	上田 千尋氏
サッカー2級	天野 喜章氏
フットサル2級	木村 拓氏
サッカー3級	石川 力斗氏、石塚 奈保氏、岩田 賢二氏、梅原 力氏、江田 優太氏、大内 昂氏、川上 達也氏、桐生 誠氏、寺井 隆氏、平山 美幸氏、吉田 宏樹氏、吉満 修二氏、米田 卓也氏
フットサル3級	井村 洋和氏、井元 貴規氏、小倉 敬右氏、小林 智氏

昇級者の皆様の中より以下寄稿いただきましたのでご紹介いたします。

● 天野 喜章氏(サッカー2級)

千葉県の皆様、この度、2級昇級審査に合格しました、天野喜章です。2016年は不合格、2年越しの合格となり喜びもひとしおです。

山岸委員長をはじめ、審判委員会役員の皆様が、ご一緒した審判員の皆様が、私を応援して下さい、ご指導下さったお陰です。本当にありがとうございました。

審判が楽しくてしかたない、もっともっと上手になりたい！

千葉県のサッカー、審判委員会、審判員の皆様は、そんな気持ちにさせてくれました。

そんな皆様に、46歳の私がどれだけ恩返し出来るか、お役にたてるかわかりませんが、これからも頑張っていきますので、どうぞよろしく願いいたします。



プロフェッショナルレフェリーの家本氏(右側)と筆者

● 木村 拓氏(フットサル2級)

皆様、こんにちは。流山市在住の木村拓と申します。流山市は千葉県の中では端のほうにあり、千葉県のフットサル会場は千葉市方面や館山などで開催することが多かったので初めのうちは移動に少し時間がかかりましたが、最近は慣れてきてか小旅行のように楽しめるようになっております。また、徐々に使用できる体育館も増えてきており、フットサルに対する見方も変わってきているのでは、と感じております。先日は地元の流山の体育館でU-15の大会なども行われ、個人的ですが自転車で移動できるという嬉しい体験もできました。

さて、今年は自身にとって大きな転機となり、フットサル2級試験に合格することができました。4月に県内での予備試験が体力、筆記と行われ、それに合格したのち今度は実際の試合の見極めが行われま



した。なんとかパスし、10月に関東での体力、筆記の本試験を受験し、半年以上かけてのようやくの合格でした。

しかし今感じるのやはりまだまだ足りないモノが多いということで、試験を受けていた間の半年以上の間も同じモノを感じておりました。それは競技規則に対する理解の浅さや、判定に対する甘さ、動きの質の低さ、試合に臨む際のモチベーションの上げ方、上げればキリがありません。試験に臨むことで自身の足りない点が見えてきました。ですがこのように感じるができるようになってきたのも試験を通して今まで以上に取り組んだ結果であるとも感じております。また、まだまだ実力不足の自分がここまで来れたのは素晴らしい周りの方々に恵まれた結果であり、ここまで支えてくださった皆様をはじめ、多くの方々に感謝いたします。

ですがこれで一旦の幕引きというわけではなく、むしろ足りない点が浮き彫りになってきた事でさらなる向上心が生まれてきました。皆様には引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



レフェリーフィットネスコラム

地域レフェリーフィットネスインストラクター 牛尾眞一郎 ushishi2010@ybb.ne.jp

今回は、FIFA 11+ Referee Editionについて！

FIFA(国際サッカー連盟)では、ケガ予防のプログラムとして、「FIFA 11+ Referee Edition」というものを作成しています。今回はその紹介です。



牛尾 眞一郎

詳細は、FIFA medicalのHPでも紹介されています。

(<http://fifamedicinediploma.com/lessons/prevention-fifa11-referees/>) 英語版 PDFのマニュアルもダウンロード可能です。

大事なことは、ケガを予防し、しっかりとトレーニングをしていくことです。たくさんのトレーニングの情報がありますが、今回をそのうちの1つとしてご紹介させていただきます。

自分自身の身体と対話しながら、姿勢は正しいか、呼吸はしっかりできているか、重心はどこにかかっているか確かめながら行ってみましょう。続けていくことで、より自分自身の身体を知ることができると思います。

「FIFA 11+ Referee Edition」

2つのランニングエクササイズとコアやバランスのトレーニング内容となっています。今回は、コア・バランストレーニングのご紹介です。6つの基本運動と主審、副審用に2つずつの運動があります。

1.2などは30～60秒姿勢をキープ、6はゆっくりとした動作を行い、筋肉に刺激を入れたりします。

1. ベンチ
2. サイドウェイベンチ
3. ブリッジ
4. ハムストリングス(太もも裏)
5. カーフ(ふくらはぎ)
6. スクワットジャンプ
- ・ For 主審 ・ For 副審
7. 片足立ち 7. 斜めランジ
8. フロントランジ 8. ラテラルジャンプ



1. ベンチ



2. サイドウェイベンチ

「コア・体幹トレーニング」という言葉を知っている方も多いと思います。審判の動きの中で大事な加速やストップ、方向転換において自身の体重や生み出した勢いをコントロールするために足腰と連動して体幹が常に機能しています。身体のブレが生じないように全身運動を通してバランス良く鍛え、ケガのない身体を目指していきましょう！

今回のプログラムはいかがだったでしょうか。動きをつけてぜひ知っていただきたいのですが、伝わりにくかったですね。これからもウォーミングアップ、クールダウン、トレーニング方法、走り方、リカバリー方法、栄養など一緒

に勉強していきましょう。

ご質問、勉強したいことありましたらどんどご連絡
ください。



6. スクワットジャンプ

《更新講習会のお知らせ(サッカー)》

(公社)千葉県サッカー協会主催分のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会がありますので、インターネットをご利用いただける方は『KICKOFF』でご確認ください。

4級審判員対象

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	申込期間
2018年 2月25日(日)	17:00～ 17:30	17:30～ 20:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モル ール「スポーツ センター駅」徒 歩10分	160名	有	2018年2月10 日まで 本年度最終

3級審判員対象

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	申込期間
2018年 2月25日(日)	17:00～ 17:30	17:30～ 20:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (2～4研修室)	千葉都市モル ール「スポーツ センター駅」徒 歩10分	90名	有	2018年2月10 日まで 本年度最終

2級審判員対象

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	申込期間
2018年 2月11日(日)	17:00～ 17:30	17:30～ 20:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (2研修室)	千葉都市モル ール「スポーツ センター駅」徒 歩10分	30名	有	2018年1月22 日まで 本年度最終

【審判委員会からカテゴリー審判員の皆さんへのご案内】

2017年10月20日

カテゴリー審判員 各位

千葉県サッカー協会 審判委員会
委員長 山岸 佐知子

今年度の審判資格更新に関するお知らせ

日頃より、審判活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。
皆さんの活動が、千葉県のサッカー競技を支えていると思っております、日常のトレーニング・体調管理も大変かと思いますが、審判活動に励んでいただければと思います。
連絡が遅くなってしまいましたが、今年度の審判資格更新方法について下記のとおりお知らせいたします。

更新方法 (カテゴリー審判員)

1. 県主催の審判員更新講習会での更新。
(審判委員会各部主催の更新講習会を含む)

2. 市町村主催の審判員更新講習会での更新。
 3. 実技と研修会参加での更新。
 - 県主催以上の大会において、
 - ① インストラクター派遣のある試合で、アセスメントレポートが提出されている試合を年間1試合以上。(主審・副審問わず。第4の審判員は除く。)
 - ② 審判委員会主催の研修会・講習会に年2回以上出席。
 - *対象となる研修会・講習会
開幕前研修会(3月12日)、競技規則講習会(7月2日、30日)、
カテゴリー研修会(10月9日)、強化審判員研修会や、JFA、
関東協会などの研修会を含みます。
- 「3」で更新される方は、①と②の項目を両方クリアしていることを条件に更新といたします。

上記を確認の上、審判資格の更新をお願いします。

「3. 実技と研修会での更新」については10月下旬以降随時、更新対象者へ「育成部 木原」より連絡をさせていただきます。

審判員更新に関するお問い合わせは
 審判委員会
 育成部 木原 まで連絡をお願いします。
 メール：cfa.ref.kihara@gmail.com
 携帯：090-3046-4307

【注】更新方法の【3】については、11月末時点で対象となるカテゴリー審判員の皆様には、12月20日付けで【通知】のメールを送信しています。対象とならない審判員の皆さまは、更新方法の【1】【2】の方法で更新の手続きをお願いします。
 ご不明な点につきましては、審判委員会 育成部 木原 まで連絡をお願いします。
 (e-mail:cfa.ref.kihara@gmail.com ・ 携帯 090-3046-4307)

《新規取得講習会のお知らせ(サッカー)》

(公社)千葉県サッカー協会主催の次年度新規取得講習会(前倒し)です。2018年4月から有効となる審判資格です。ご注意ください。インターネットをご利用いただける方は『KICKOFF』でご確認ください。

※2018年度から、審判員証が電子登録証に完全移行いたします。

※3月に行われる講習会受講者には審判物品が年度初めに届かない場合があります。

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場
2月11日(日)	9:30~10:00	10:00~16:30	講義	千葉県スポーツ科学センター(1研修室)	千葉都市モルレル「スポーツセンター駅」徒歩10分	160名	有
2月25日(日)	9:30~10:00	10:00~16:30	講義	千葉県スポーツ科学センター(1研修室)	千葉都市モルレル「スポーツセンター駅」徒歩10分	160名	有
3月3日(土)	9:30~10:00	10:00~16:30	講義	千葉県スポーツ科学センター(1研修室)	千葉都市モルレル「スポーツセンター駅」徒歩10分	160名	有
3月18日(日)	9:30~10:00	10:00~16:30	講義	千葉県総合スポーツセンター 宿泊研修所(2階大ホール)	千葉都市モルレル「スポーツセンター駅」徒歩8分	160名	有

《更新講習会のお知らせ(フットサル)》

(公社)千葉県サッカー協会主催分のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会がありますので、インターネットをご利用いただける方は『KICKOFF』でご確認ください。

4級審判員対象

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場
2018年 2月12日(月祝)	9:00～17:30	10:00～18:30	実技	千葉県スポーツセンター 体育館	千葉都市モルレル「スポーツセンター駅」 徒歩10分	8名	有

3級審判員対象

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場
2018年 2月12日(月祝)	9:00～17:30	10:30～18:30	実技	千葉県スポーツセンター 体育館	千葉都市モルレル「スポーツセンター駅」 徒歩10分	8名	有

3級インストラクター対象

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場
2018年 2月12日(月祝)	9:00～9:30	9:30～17:30	講義	千葉県スポーツセンター 体育館	千葉都市モルレル「スポーツセンター駅」 徒歩10分	3名	有

《新規取得講習会のお知らせ(フットサル)》

(公社)千葉県サッカー協会主催の次年度新規取得講習会(前倒し)です。2018年4月から有効となる審判資格ですのでご注意ください。インターネットをご利用いただける方は『KICKOFF』でご確認ください。

※2018年度から、審判員証が電子登録証に完全移行いたします。

※3月に行われる講習会受講者には審判物品がが年度初めに届かない場合があります。

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場
3月3日(土)	9:30～10:00	10:00～17:00	講義	千葉県スポーツ科学センター (4研修室)	千葉都市モルレル「スポーツセンター駅」 徒歩10分	30名	有
3月18日(日)	9:30～10:00	10:00～17:00	講義	千葉県総合スポーツセンター 宿泊研修所 (2階大ホール)	千葉都市モルレル「スポーツセンター駅」 徒歩8分	90名	有

カテゴリー 審判研修会、フォローアップ研修会、合同3月予定 (日程、会場が決まり次第連絡いたします。)

《休止・降級の方法》

審判資格を休止したい方、2級から3級または3級から4級など降級を希望する方は、下記の手順で申請をしてください。

(1) 休止申請

- ① 更新講習会は、受講しないでください。
- ② 休止する理由(長期療養・長期海外出張・その他)を(公社)千葉県サッカー協会に申請する。
休止申請書の記載内容(書式はありません)
a. 審判番号、b. 氏名、c. 休止理由、d. 休止期間、e. 休止期間中の連絡先電話番号(必ずつながる電話)
- ③ 休止復活する際は、(公社)千葉県サッカー協会に電話連絡してください。

(2) 降級申請

- ① 現在の級での更新講習会は、受講しないでください。
※更新講習会を受講してしまった場合は、降級できません。
- ② 降級申請書(書式はありません)を(公社)千葉県サッカー協会に申請する。
降級申請書の記載内容
a. 審判番号、b. 氏名、c. 降級希望の級(1級→2級、1級→3級、1級→4級、2級→3級、2級→4級、3級→4級)、e. 連絡先電話番号(必ずつながる電話)
※降級申請した後で元の級に戻るには、現状の昇級審査が必要となります。

1級の方が4級に降級された場合は、3級の昇級審査に合格し、2級の昇級審査に合格し、1級の昇級審査に合格いたしませんと元の級(1級)に復活できません。

(3) 申込方法

① 申込期間：2018年2月20日まで

② 申請書送付先

〒260-0013 千葉市中央区中央3-9-16三井生命千葉中央ビル1階

公益社団法人 千葉県サッカー協会 審判担当 宛

※不明な点がございましたら、直接(公社)千葉県サッカー協会 電話043-310-4888 に連絡してください。

≪3級審判インストラクター認定講習会(試験)のお知らせ(サッカー)≫

2017年度(2018年4月1日認定)の3級インストラクター認定講習会(試験)を実施いたします。

受験を希望される方は下記により申し込みをして下さい。

【第1次審査】書類審査

◆ 応募資格 サッカー審判員資格を有している方

◆ 応募要領 受験申込期間 2018年1月15日(月)から1月31日(水)まで

上記期間内に、Webサイト「KICKOFF」から申し込みをしてください。

また、下記の提出書類を郵送で1月31日(水)までに提出してください。(必着)

◆ 提出書類 住所、氏名、生年月日、電話番号、E-mailアドレス等を所定の申込用紙に記入し、下記の書類送付先へ郵送して下さい。(所定の申込用紙は(公社)千葉県サッカー協会審判委員会のホームページからダウンロードして下さい。)

◆ 受験費用 2,000円

《第1次審査 書類送付先》

〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台1-4-1-2-1705 岡田 滋 宛

【第2次審査】認定講習会の受講及び認定テスト

◆ 開催日時 2018年度開幕前研修と同時に実施(3月中旬～下旬、後日連絡)

◆ 場 所 後日連絡

◆ 講習形式 講義及びプラクティカル等(終日) 講習会終了後に認定テストを実施

◆ 合否基準 ①講習会の受講(途中参加・退出は認めない) ②認定テスト(80点以上)

◆ 合否判定 【2次審査】の結果等を総合的に判断し、審判委員会で決定する。

◆ 認定日 2018年4月1日

☆永年表彰のお知らせ☆

(公社)千葉県サッカー協会審判員として登録後、2018年4月1日現在で20年間並びに30年間、審判活動を続けられた方の表彰を行います。

該当する審判員の方は、(自薦又は他薦を問いません)2月16日(金)までに、氏名、住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス、登録年月、審判登録番号及び活動状況を記載の上、下記までご連絡下さい。

〒260-0007 千葉市中央区祐光1-14-1 大林フローラ407 村上 匡 (宛て) E-mail: ta_da_shi1985@yahoo.co.jp

編集後記

明けましておめでとうございます。昨年のJ1リーグは劇的な逆転により川崎フロンターレが悲願の初優勝を成し遂げ、最後まで諦めずに全力を尽くすことの大切さを教えてくれました。今年はいよいよW杯イヤーです。6大会連続で出場を果たした日本代表チームも最後まで諦めずに闘う姿を見せてくれることでしょう。我々審判員は、そんな頑張るすべてのプレーヤーのために、いかなる時も任せられた試合において持てる力を出し切って盛り上げて参りましょう。本年もよろしくお願ひ致します。(ATSU)

レフェリーニュース編集員

染田 洋

唐崎 敦好

木川 綾

長谷川 鉄哉

公益社団法人 千葉県サッカー協会審判委員会 <http://cfa-referee.lolipop.jp/>

次回4月号はWeb配信の予定です。

E-mail: cfarc.somu@gmail.com

